

臨床研究「胸部放射線治療後の生活の質(Quality of Life : 以下 QOL)に対する多施設共同前向き観察研究」 について

2020年12月1日

茨城西南医療センター病院・放射線科治療部門では、標題の臨床研究を実施しております。

筑波大学附属病院を代表施設とする多施設共同観察研究です。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

癌治療の進歩に応じて、治療の生存期間や無増悪生存期間といった成績の他にも QOL の維持・向上といった観点ももたれるようになってきています。さらには昨今の社会保障費増加を背景とし、中央社会保険医療協議会などでも議論されているように医療経済評価も治療手段の評価の一つの観点として注目されています。医療技術における経済評価に関しては「効用値」と呼ばれる QOL の数値的測定が求められますが、その研究の数は十分ではありません。この研究の目的は胸部への放射線治療後の患者さんの QOL の値を評価し、放射線治療での副作用に伴う QOL の損耗を具体的に明らかにすることです。

② 研究対象者

茨城西南医療センター病院で胸部原発の癌に対して放射線治療を受けられた方

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月31日まで（一部不足症例ある場合は延長を考慮する）

④ 研究の方法

QOL 値の測定方法に関しては『医療経済評価研究における分析手法に関するガイドライン. 厚生労働科学研究費補助金. (政策科学総合研究事業)「医療経済評価を応用した医療給付制度のあり方に関する研究」. (研究代表者：福田敬)平成 24 年度総合研究報告書. 2013.』を参考とし、EuroQol (ユーロコル) Group により開発された EQ-5D-5L により測定します。

測定は放射線照射後の定期受診中の患者様とし、各患者様について 1 回のみ測定とします。データは氏名や住所、カルテ番号などの個人を特定する情報とは切り離れた情報のみ使用します。

⑤ 試料・情報の項目

診療情報(EQ-5D-5L 質問紙、照射後の晩期有害事象の程度)

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

提供なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

奥村敏之 茨城西南医療センター病院放射線科・治療部門

⑧ 研究機関名および研究責任者

筑波大学附属病院・陽子線治療センター 櫻井英幸

筑波メディカルセンター 放射線治療科 大城佳子

茨城県立中央病院 放射線治療科 玉木義雄

東京医科大学茨城医療センター	放射線科	菅原信二
水戸医療センター	放射線科	大川綾子
茨城東病院	放射線治療科	水本斉志
日立総合病院	放射線腫瘍科	滝澤大地
土浦協同病院	放射線治療科	田中圭一
水戸協同病院	放射線治療科	奥村敏之

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

茨城西南医療センター病院： 茨城県猿島郡境町 2190

所属・担当者：放射線科治療部門 医師 奥村敏之

電話；0280-87-8111（平日9～17時）